

リズムニュース

米沢市立病院

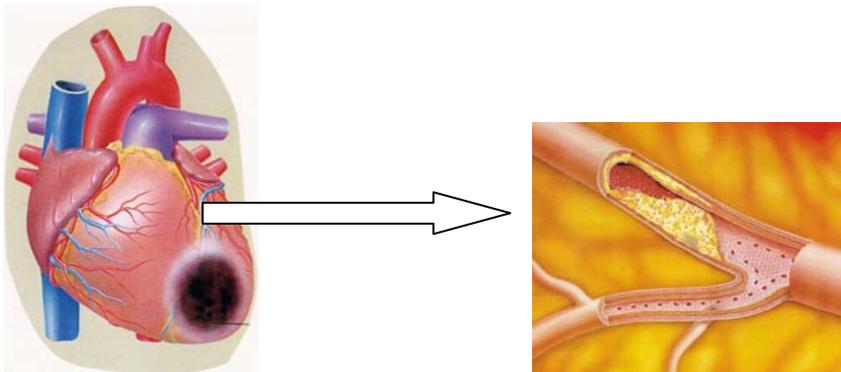
循環器科

第12号 2010年

ペースメーカーの植え込みを受けている人も心筋梗塞や狭心症になることがあります。ペースメーカーを入れることになった病気と、これらの病気は全く異なるものですので、植え込みをしてから定期的にペースメーカーのチェックを受けているからといって、狭心症などの病気にならないとは限りません。今回は心筋梗塞や狭心症など、心臓の血管の病気について詳しく説明しましょう。

心筋梗塞・狭心症ってなに？

狭心症は心臓の筋肉を養う血管が細くなり、その先に十分な血液が流れないために運動した時・興奮した時などに胸が苦しくなる病気です。血管がつまって血液が流れなくなるのが心筋梗塞です。主に血管の動脈硬化が原因で、糖尿病やコレステロールが高い人に多い病気です。

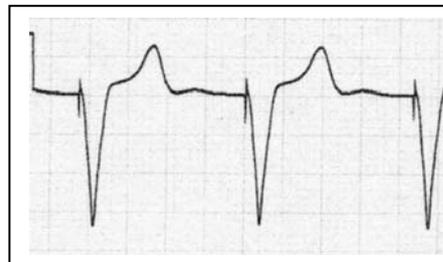


どうやって診断するの

ふつうは心電図で診断することができます。ところがペースメーカーを植え込みされている方は心電図診断ができません。なぜなら心電図はペースメーカーがつくった波形になっているからです。



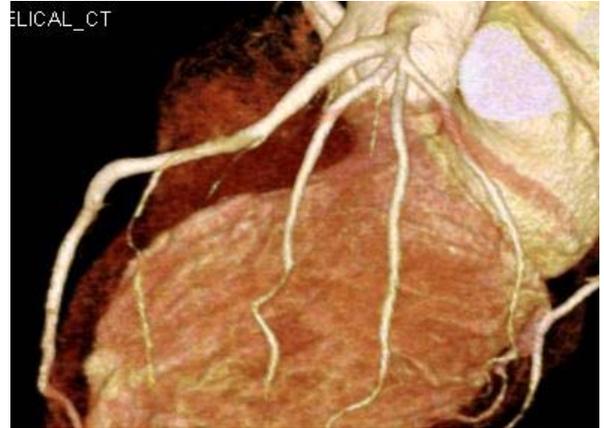
普通の人々の心電図



ペースメーカーが入っている人の心電図

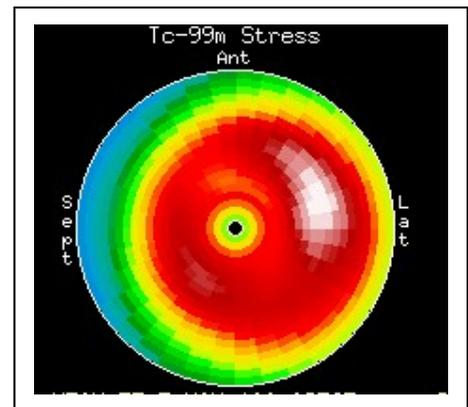
では、どうやって診断する？

2つの診断方法があります。一つ目は冠動脈CTです。造影剤を点滴して心臓の血管に入ったところに高速でCTをとると心臓表面の血管(冠動脈)がきれいに造影されます。この方法で血管に動脈硬化があるかないかを判断することができます。心臓の中にペースメーカーリードが入っていても問題なく撮影することができます。またペースメーカー本体にはCTの放射線が当たらないように工夫していますので、ほとんどの方は行うことができます。しかし特殊なペースメーカー(植え込み型除細動器など)を使用している方はできませんので、注意が必要です。主治医に相談しましょう。



もう一つは心筋シンチです。

核物質を注射して心臓に集まったところにガンマカメラで写真をとり、核物質が集まりにくいところがないかを診断します。この検査はペースメーカーが入っていても問題なく行うことができる検査です。



一昔前はペースメーカーを植え込みされている方の心筋梗塞や狭心症は多くありませんでした。しかし最近は何となく少なくありません。運動した時に胸が締め付けられるように苦しくなる方は、早めに主治医に相談してください。

お知らせ

以前にもお知らせしましたが、ペースメーカーを植え込みされている方がお亡くなりになった場合は、ペースメーカーを体内から取り出す必要があります。かかりつけの先生に事前に相談して、対応が難しいといわれたら早めに当院へ連絡してください。